



プロジェクトについて

公益財団法人世界自然保護基金ジャパンと株式会社カスミは、2002年より環境活動・環境教育の一環として自然体験エコツアーを実施しています。第18回目の今回も小学校4～6年生を対象として「大切にしたい自然と生き物」をテーマに作文を募集し、31通のご応募からネイチャーキッズ賞受賞8名を特派員として、とうほく南三陸へ派遣しました。(延べ3368通の応募作文・168名派遣)舞台となる南三陸町は、高い山々と広い海に囲まれ、リアス式海岸や分水嶺などの特徴的な地形が有名な町です。

東日本大震災から8年、被災したこの地域では、自然環境の保全と、持続可能な社会づくりを通じた復興をめざし、様々な活動が行われています。

「自然の恵みと人の暮らしのつながり」をテーマとして、多様な生物の生きる南三陸の海と、その海によって成り立っている水産業、そして、そこで生活している人々の暮らしについて学びました。

4日間のツアーの中では、シュノーケリング観察会やカヤック体験、また森の探検などを行いました。そこで学んだこと、感じたことなどを子どもたちが「手作り壁新聞」にまとめたので、ネイチャーキッズ賞の「作文」とともにご紹介いたします。

WWF奨励賞入賞者

- 松本 悟 みたろ市立立山小学校 4年 「大切にしたい自然と生き物」
- 鈴木 菜月 つくば市立立山小学校 4年 「聞けば体験で気づいたこと」
- 鈴木 裕理 ひたちなか市立長瀬小学校 4年 「魚のすみかのために」
- 佐々木 祐希 牛久市立立山小学校 4年 「大切にしたい自然と生き物」
- 青木 翔夢 日立市立立山小学校 5年 「大切にしたい自然と生き物」
- 高橋 一樹 常陸太田市立太田小学校 6年 「かきがあるもの」
- 高橋 秀斗 つくば市立立山小学校 4年 「スズメがいる自然を守っていくために」
- 秋葉 律貴 日立市立立山小学校 6年 「大切にしたい自然と生き物」

ネイチャーキッズ 特派員 概要

作文募集
4/1～5/20

7/6 任命式
(説明会)



ネイチャーキッズ賞の8名に探検隊としての任命証を渡しました。

ツアー実施 7/23～26 探検隊プログラム

7/23 町を知る



東京駅を出発し、南三陸へ。海のビジターセンターでお話を聞きました。

7/24 森にふれる



森の中を散策しました。

7/25～26 海と共に生きる力を育む



シュノーケリングとカヤックを体験しました



キャンプ場周辺の散策をしました。

8/24 体験のまとめ報告会



ツアーから戻ると体験の記録や感想を手作り壁新聞にまとめ報告会を開いて内容をそれぞれに発表し、体験を振り返りました。

多様な生物の生きる南三陸の海と人々の暮らしについて学んだ3泊4日のエコツアー

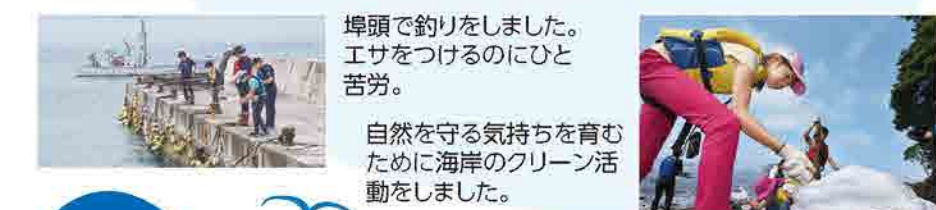
南三陸町の海は、寒流(親潮)と暖流(黒潮)がちょうど混ざり合う穏やかな湾で、カキ・ホタテ・ワカメの養殖が盛んな漁場です。山と海も非常に近く、シュノーケリングやカヤックによる海の観察と、地元の食材を味わうことで「食」と「自然」のつながりを学びました。

海を感じる 海の中の生き物や植物を観察する

「シュノーケリング観察会&カヤック体験」



南三陸の宝物の海。海に入って海藻や生物を観察したり、水面に座るかのような目線で乗るカヤックのレクチャーを受けて、ハンドリングしました。



海と共に生きる力を育む

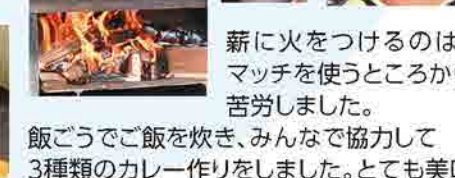
「神割崎キャンプ場キャンプとBBQ」



夜は火を囲んで一日の振り返りを



きれいな星空をみて、眠りにつきます。



薪に火をつけるのは、マッチを使うところから苦労しました。

飯ごうでご飯を炊き、みんな協力して3種類のカレー作りをしました。とても美味しくできました。

町を知る 震災後の南三陸町を巡り自然の大きさを知る

「町の散策」



南三陸・海のビジターセンターでは周辺の自然(鳥や魚・植物)志津川湾について学びました。

ポータルセンターのテントで東日本大震災の記録「南三陸ストーリー」を見学しました。

森にふれる 森と海の深いかかわりを知る

「森のトレイル」



田東山(たつがねさん)は古くから山岳信仰の霊山として人々の信仰を集めてきました。この巨石の裂け目をくりぬける儀式をしたそうです。

お世話になったみなさん

4日間ありがとうございました

海の自然史研究家 宮内 和也さん(左) 南三陸町 高橋 孝一さん(右) カメラマン 佐藤 浩二さん(左) 高橋 孝一さん(右)

ネイチャーキッズのみなさん、元気ですか? Mr.ピースです。南三陸での活動はどうだったですか。海や森の活動が、キャンプをしたことが、この町にきたことが、みんなの未来づくりにつながれば良いなと思っています。みんなの未来は、自然ともしっかりつぎあわないといけないんじゃないかな。それを乗り越えていける力が、少しでもこのネイチャーキッズで育まれていることを期待しています。ぜひまたどこかで会いましょう。

NPO法人海の自然史研究所 海のビジターセンター 高橋 孝一さん(ピース)

NPO法人海の自然史研究所 海のビジターセンター スタッフ 高橋 孝一さん(ピース)

発刊によせて



株式会社カスミ 取締役会長 小濱 裕正

WWF ジャパン 事務局長 筒井 隆司

WWF

楽しみながら
自然を学ぼう!

とうほく南三陸の 山と海の自然

1日目～
3日目

海のビジターセンター 〈坂本海岸〉



海岸のクリーン活動と
釣り



みんなとゲームをしながら、
周辺の自然を学びました。

1日目～
2日目

下道荘

お世話になりました!



2日目

田束山～神平周辺

森のトレイルで田束山や
巨石に登りました



◆この作文&体験記録集は、カスミのホームページでもご覧いただけます。

探検 MAP

WWFジャパンと とうほく南三陸

ギンザケやカキ、ホタテやワカメなどの養殖業が盛んな宮城県南三陸町。
志津川湾を囲むように志津川地区・歌津地区・入谷地区・戸倉地区と4つの
地区から形成されるこの町は、2011年3月の東日本大震災で大津波によ
る甚大な被害を受けました。
WWFジャパンは、大きな被害を受けた地元の基幹産業である水産業を震
災前そのままの状態に戻すのではなく、海の環境に配慮した新しい養殖の
あり方を模索し、その実現に向けた取り組みを行なっています。

南三陸
MINAMISANRIKU

南三陸町
7月下旬の気温

平均気温 26.0℃
最高気温 31.0℃
最低気温 20.0℃



3日目

坂本海岸 〈カヤック・シュノーケリング〉



2組に分かれてカヤックと
シュノーケリングを体験



簡単リゾット作りとビジター
センターのお掃除

3日目～
4日目

神割崎キャンプ場 〈プログラムの実施と宿泊〉



テントの設置から片付けまで体験。
BBQ、カレー作り、はんごうで
ごはんも炊きました。



<http://www.kasumi.co.jp/>

